



妙高

妙高市立妙高中学校
学校だより 第27号
平成26年10月15日
携帯電話用QRコード →



「体験」と「経験」の違いは？

校長 鈴木 恒夫

◆「体験と経験の違いは何だ？」…以前ある人からいきなりこう聞かれました。

「体験」と「経験」、私はどちらも同じような意味だと思っていて改めて考えたことはなかったの、答えることができませんでした。

その人は次のように言っていました

「体験」…見たり、聞いたり、行動したりして関わったこと

「経験」…体験をもとにして自分自身のものとして身に付けたもの

つまり「経験」は「体験」より一段レベルアップしたものなのだと思います。

学校では、「総合的な学習の時間」などで様々な体験的な学習を取り入れています。例えば2年生の「職場体験学習」、3年生の「赤ちゃんふれあい体験講座」などです。「小中合同遠足」や「体育祭」等の行事も大切な体験の場です。

以下は2年生の「職場体験日誌」から抜粋した生徒の感想の一部です。「体験」を自分なりに受け止め、今後に活かそうとしています。

- ・どんな仕事にも意味があることを信じて中学校生活を送りたいと思います。
- ・人との接し方を勉強させられた3日間でした。
- ・どの職業も大切な役割を果たしていることが分かりました。
- ・挨拶、礼儀、態度をしっかりと、責任をもった行動ができるようになりたいです。
- ・内容の濃い3日間でした。初めて見ること、初めて知ることがたくさんあって、一日が短く感じました。
- ・働くのは自分のためにもなりましたが、何よりも相手に喜んでもらえるうれしさを感じました。
- ・やっぱり挨拶が1番だと思う。今できることは地域の人や家族、先生に挨拶をしっかりとすること。
- ・頑張っているお母さん、お父さんの大変さが分かりました。
- ・日がたつごとに子どもとのふれあい方、話し方が分かってきて、自分でも成長できたと思う。



職場体験学習 (9/17-9/19)



赤ちゃんふれあい体験 (9/17)



小中合同遠足 (9/22)

◆「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。」(英国の諺)

学校や家庭、地域で大人が様々な場を設定しても、それを実行し「経験」にまで高めるのは当人次第です。

「体験」から価値を見だし「経験」にレベルアップさせる

ためには「自分で考える」ことが必要です。「体験」の意味を自分で考え直し、「経験」としてしっかり身に付ける努力が大切なのだと思います。

10月7日の全校朝会は、表彰が30件もあり、時間も大幅に超過しました。嬉しい悲鳴です。「体験」のチャンスを逃さず、成長へとつなげるため、これからも様々な事に積極的に挑戦して欲しいと思っています。